

## 「人権問題の解決に向けて」

私は、この東秩父村に生まれてから村外で生活した経験がありません。そしてもう66才という年齢になっております。

私の若い頃と今では、人権問題に対する考えが大きく変わってきたと思います。以前には、今で言う「差別用語」が当然のように使われていました。「同和地区」の方々に対する差別、身体障がい者に対する差別的言動が日常的にありました。しかし、現在では、こういった差別用語は聞かれなくなりましたが、差別がなくなっただけではありません。

インターネットによる差別

### 「我が家のニューフェイス」等、掲載者募集！！

●「我が家のニューフェイス」  
0～2歳児までのお子さんを対象としています。お引っ越しや結婚等で本村に新たに生まれられた方も今後は対象としていきたいと思ひます。

●「いきいき男女応援プロジェクト」  
子育てと仕事に奮闘しているママさんやイクメンパパを募集しています。男女共同参画プラン「元気いっぱいひがしちちぶ」に則り広報・掲載を開始しました。皆さまからいただいた貴重なご意見を今後活かす活動を行います。

●「ピックアップ村人」  
村の行事・イベントなどで活躍されている方を対象に2017年はインタビューをさせていただきました。団体、個人の紹介から村に望むことなど・・・広報担当が世間話を交えてお聞きします！まだいろいろな団体、個人を紹介しきれない企画ですのでご応募をお待ちしています。

問合せ 総務課広報担当  
☎ 82-1226

外国人に対する差別的言動、いじめ問題等、表面に表れない差別がたくさんあります。こうしたことを解決していくためには、社会秩序と道徳を学んで、何より相手の立場に立って人に接していかなければならないと思ひます。

私も振り返って見ると知らず知らずのうちに皆さんを傷つけてきたのではないかと思ひます。時代が変わり、考え方が変わっても人権は守っていかなければならないと思ひます。そのためにも、様々なセミナーや人権問題講座等に出席し、勉強していかなければならないと思ひます。幸いこの東秩父村はやさしく人情深い方々が多いところですから、村の多くの方々に教わりながら共に歩んでいきたいと思ひます。

東秩父村議会議長 松澤公一

東秩父を全力応援！

## 地域おこし協力隊通信



大学生とのコラボプロジェクト「ふるさと支援隊」が始まりました！  
ふるさと支援隊とは、高齢化などが進む中山間地域で、大学生が持つ行動力や新たな視点を活かして地域活動をサポートする、埼玉県の事業です。今年度より大東文化大学国際関係学部の学生たちと皆谷・白石地区を主なフィールドとして活動することになりました。

「東秩父村中山間地域の暮らし（食・慣習・自然風土）を通じた交流の創造」をテーマに、郷土料理本「おごっつおさま」の復刻版製作、東秩父村の資源を活かしたツアー化を目標に活動予定です。昨年度実施した薬草ツアーを主催する旅行会社とのご縁で今回の企画に繋がり、地域おこし協力隊は企画立案からコーディネーターとして携わらせていただいています。



7月15日の初回の活動では、あじさいの道など村内をめぐり白石キャンプ場で調理をしながら地元の方々と交流をしました。東秩父村の名前すら知らなかった学生がほとんどですが、人や雰囲気がとても素敵な所だと喜んでくれました。初年度はじっくりと東秩父村を知ってもらい、地域の方から見聞きたことや学生たちの発見・気づきを活かした企画と一緒に考えていきたいと思ひます！